

発行日 平成30年3月20日
発行 女池校区コミュニティ協議会
会長 佐藤 雅之
TEL 025-285-9501
FAX 025-288-5681
e-mail qqtm7xk9k@arrow.ocn.ne.jp

女池コミ協だより



地域包括ケアシステムを考える

女池校区コミュニティ協議会会長 佐藤 雅之

明けても暮れても雪除け、そんな日々が長らく続きましたが、3月に入り、漸く春めいてきました。それにしてはこれだけ降ったのは、ここ半世紀でも数回程度ではないでしょうか。地域の皆様のご協力でご何とか大事もなく切り分けられたようですが、10年後、20年後を考えると雪除けが出来る人などいるのだろうか心配になってきます。

昨今、地域包括ケアシステムという制度がコミ協や自治会に新たな業務のように押し掛かっています。そして学習会等に出席すると地域の皆様が地域の人のために頑張る、と言ったことが当たり前のように言われています。

しかしながら、考えてみると、私たちの生活はその殆どが民間企業によって成り立っています。地域包括ケアシステムという制度は、もっともって、民間企業を入れ、民間企業が出来ないようなことを地域住民がやるべきではないでしょうか。

今回の雪除けも、紫鳥線の歩道や除雪車が来ない長い私道など、負担の大きいところは近隣の民間企業に自治会費等を使って委託し、自分たちの家のまわりなど、本来自分たちでやるべきところを、近隣の人達が協力して雪除けをする、そのような形が過度な負担が掛からず、一番現実的だと思います。

日々の生活にもっと民間企業を入れ、双方が得をするような仕組みを作ることこそが、あるべき地域包括ケアシステムだと思うのですが、如何でしょうか。

この「女池コミ協だより」は新潟市コミュニティ協議会運営助成金を受けて発行しました。

地域の情報

新しくなった女池交番



12月20日、交通公園の脇にある女池交番が新しくなりました。女池交番は、11名の警察官と1名の交番相談員が勤務しています。新しい女池交番は、地域の安心・安全の拠点として利用可能な相談スペース、駐車スペースも設けられ、住民の皆様から気軽に立ち寄れるようになりました。今まで以上に地域を守って下さる交番になって頂く様、コミ協としても協力していきたいと思っております。

鳥屋野潟整備実施計画について

私たちが居住する鳥屋野地区は地盤が低く、いわゆる0メートル地帯と言われています。その中でも鳥屋野潟は一番低く、水面の高さは標高でマイナス2.5メートル、日本海に比べると約3メートルも低くなっています。鳥屋野地区に降った雨や、水田を満たす農業用水などは、排水路を通り、鳥屋野潟に流れていき、最終的に鳥屋野潟から続く親松排水機場のポンプにより信濃川に汲み上げられます。

通常の降雨は、降った分だけ親松排水機場から汲み上げ、水面が常時マイナス2.5メートルになるように調整されていますが、豪雨となると、汲み出す量が、降ってくる雨量に間に合わず、水面が上昇し、最後は溢れたり、排水路を逆流したりして、住宅地に被害をもたらす可能性が出てきます。

その洪水による氾濫を防ぐため、鳥屋野潟に堤防を造ることが決定し、順次工事に入ることになりました。

しかしながら、鳥屋野潟は広いため、一度に進めることは出来ず、4期に分けて工事が進められます。

女池校区に関しては、第1期に小張木から上沼に続く湖岸道路（関屋菅野木線）、そして、第2期に神道寺、桜木町地区、最後の第4期が小張木地区となっています。

完成まで20年以上掛かる工事でありますが、湖岸に居住する方の中には、堤防や公園整備のため、移転を余儀なくされる方が多数います。

鳥屋野潟付近に居住しておられる方におきましては、これからも注視して、工事の成り行きを見守る必要があるでしょう。



編集後記

今後もコミ協の取り組みや地域の課題、自治会活動など身近な話題も紹介していきたいと考えていますのでご意見・ご要望をいただければ幸いです。

編集委員一同

新潟県ホームページより。詳しくは http://www.pref.niigata.lg.jp/niigata_seibi/

“絆” “支え合い” “助け合い” 各部会の取り組み “自助” “共助” “公助”

総務部会

座長 佐藤雅之

①女池校区一斉草取り大会
女池校区の多くの自治会が参加し、9月から10月にかけて女池校区の大通りを中心に、住宅街の小路に至るまで、幅広く草取りが実施されました。皆様の活躍により、女池がより綺麗な街になりました。



一斉草取り

②区長懇談会

2月18日、中央区から、石塚中央区長、山川南出張所長、そして地域課、建設課の職員、合わせて5名の方々に来て頂き、女池校区内の自治会長、そしてコミ協役員との懇談会を開催し、次の様なことを進めていくことになりました。
①女池校区内の避難所に備えられた防災資機材について整備状況を明確にすること。
②集会所については、女池ひまわりクラブの利用実態と、今後の利用について明確にする。こと。
③近江排水路の暗渠化については水田の状況を見ながら進めること。



区長懇談会

④鳥屋野潟整備実施計画については地域住民に対して説明をきちんとすること。また、抽象的な結論だけでは先に進むことが出来ませんので、なるべく具体的な方策を考えて欲しいとお願いしました。

環境部会

環境部長 渡邊宏一

①防災訓練
今年度の防災訓練は、各地域の指定避難所にて開催しました。

開催日時

9月3日(日)	鳥屋野中学校	172名
10月1日(日)	江南高等学校	180名
10月21日(土)	女池小学校	178名
10月29日(日)	紫竹山小学校	137名

※紫竹山コミ協と初の合同開催

訓練内容

- 一、避難所への安全誘導・要援護者の安否確認・避難者状況を避難者カードで掌握
- 二、講演『地震だーその時どうする』
- 三、炊出し訓練



炊き出し訓練



講演会

女池校区コミュニティ協議会

今年度下期の活動報告

福祉部会

福祉部長 富田良子

学校部会

学校部長 佐藤豊

①地域包括ケアシステム学習会(年2回開催)
3月8日、鳥屋野地区公民館大ホールにおいて、鳥屋野地区公民館との共催で学習会を開催しました。

テーマ

みんなの女池で元気で楽しく長生きしよう！
(健康寿命の延伸)

今回は、自治会役員、民生委員、老人クラブ役員等、地域で活躍の方々他に、地域の活動に力を貸していただける団体からも参加していただきました。
・元気で楽しく長生きするための生き方について行政等の職員による「劇回めいけ」がわかりやすく寸劇をしました。
・認知症予防、転倒予防のための「貯筋体操」を高橋一栄先生(医学博士)から教えていただき、約100名の参加者全員で体験し、好評でした。



包括ケアシステム学習会

②「地域の茶の間」の支援

・女池校区内4カ所にある「地域の茶の間」に活動資金として支援しました。
・「地域の茶の間」は、高齢者が集まって楽しく憩える場所です。
自治会等で、徒歩15分以内の場所に、よりの多くの茶の間ができてくれることを願っています。



地域の茶の間

②防災施設の視察研修

10月25日(土) 中越地震の被災地を巡回、43名が参加しました。みぞれ混じりの寒い一日でしたが、「百聞は一見にしかず」日頃の防災意識に一石を投じる有意義な視察研修となりました。



長岡震災アーカイブセンター



防災施設視察研修参加者

①女池っ子食堂の開催

10月に女池っ子食堂を立ち上げ、隔月でこぼりのき会館で開催しています。女池っ子食堂は、食を通じた幅広い世代の交流の場、子どもたちに大人と触れ合う機会を持つてもらおうと、幼いころから自分が暮らす地域に親しんでほしいと思っています。現在、開催場所の確保など課題はありますが、皆さんに楽しんでもらえる場所にしていきたいと思います。皆さん「楽しくご飯を一緒に食べましょう」女池校区の農家 佐藤米造さん、渡邊正一さんより沢山のお野菜を頂きました。ありがとうございます。



女池っ子食堂

②新潟シティーマラソン運営協力

10月9日に新潟シティーマラソンが開催され、初めて女池小学校区がコースとなり、ゲストランナーの高橋尚子さんも市民ランナーとともに駆け抜けていきました。コミ協も女池小学校区スポーツ振興会と協力し、走路の監視に当たりました。地域の皆様、選手への声援ありがとうございました。



新潟シティーマラソン

③育成活動(クリスマス会、もちつき大会)

今年も3月3日に女池小学校でももちつき大会が行われました。子どもたちも楽しく餅つきをおこない、おいしく食べました。